

## スギ推奨品種さし木苗の増産に関する研究

林業研究部

### 1. 研究の背景

現在、大分県では再造林面積の増加に伴いスギさし木苗の需要も高まっており、スギさし木苗の増産が急務である。これに対応するため、本研究では、採穂の際に普段は取り残されている小さな穂木(～25cm程度、以下、ミニ穂)の活用に着目した。

### 2. 研究成果の内容・普及のポイント

ミニ穂(25cm)の秋さしでの育苗スケジュールを検討した。

#### 【試験のスケジュール】

- ・ 8月下旬、9月上旬、10月上旬に採穂・さし付け
- ・ 2月下旬および5月下旬に発根調査後、コンテナ(コンテナ苗)と苗畑(裸苗)にそれぞれ移植し、11月まで育苗



育苗後のコンテナ苗

#### 【結果】

8月下旬・9月上旬さし付け分で、10月上旬さし付け分よりも床替え時の発根状態は良好であり、育苗後は、翌年11月までに7割(さし付け数あたり)が出荷可能

ミニ穂サイズでも、早い時期の秋さしで、さし付けの翌年に高い割合で出荷可能

表 さし付け数あたりの規格到達率(%)

	さし付け時期	床替え時期	シャカイン	タノアカ	佐伯6号	佐伯13号	藤津14号	5品種平均
コンテナ苗	平成30年9月上旬	平成31年2月下旬	60.6	51.9	62.8	67.4	86.2	65.8
裸苗	平成30年8月下旬	令和元年5月下旬	70.8	69.1	70.4	72.3	90.9	74.7
	平成30年10月上旬		53.2	60.3	66.7	36.4	76.7	58.6

### 3. 期待される効果

短期間での育苗スケジュールが示されたことで、ミニ穂を利用したさし木苗の増産が期待される。

### 4. 担当機関連絡先

大分県農林水産研究指導センター林業研究部 森林チーム  
〒877-1363 大分県日田市大字有田字佐寺原35  
電話 0973-23-2146